

議事（ 3 ）

まちづくりに関する延伸線整備の意義・必要性

1. 延伸線沿線地域の現状と課題

(1) 経緯

運政審第18号答申を支えたまちづくり構想 (H12.1)

旧浦和市東部・旧岩槻市南部地域（対象地域3350ha）

首都圏30km圏内では、稀な広大な空閑地で鉄道空白地帯
大規模な宅地供給可能な地域

国際アメニティタウン構想推進による良好な都市環境を備えた魅力ある
まちづくりを推進する。

浦和美園周辺地区（約320ha）が構想実現に向けて先導的整備
地区として事業化。「みそのウイングシティ」

2. 延伸線沿線地域の将来像と課題

浦和美園駅周辺のまちづくり（みそのウイングシティ）

スポーツ・交流・自然をテーマに新しいまちの創造

快適な都市づくり
(地域整備の基本方針)



埼玉スタジアム2 2周辺において、スポーツ・文化等を中心として、交流活動がなされる拠点の形成
浦和美園駅周辺において、生活支援・地域福祉の向上等に資する地域の交流活動がなされる拠点の形成
治水対策と連携し、水や緑などの自然環境と調和した街の形成
美しく安全で快適な住宅市街地の形成

埼玉スタジアム2 2公園の基本的な方針

「サッカーの夢と感動を伝える快適・安全サッカーパーク」を目指している。



< 課題 > 地域整備の基本方針に沿ったまちづくりの形成

2. 延伸線沿線地域の将来像と課題

中間駅周辺のまちづくり

人口減少局面下でのまちづくり 及び 鉄道と連動したまちづくり

コンセプト (× 3 案)
~ 魅力的なまちづくりを目指して ~

開発パターン (× 2 案)
~ 鉄道利用の促進と需要調査に基づく開発規模 ~

A 環境にやさしい新しいまちづくり
「街じゅうがエコ 太陽を活かす未来都市」

B 長寿社会に対応したまちづくり
「長生きをサポートする 健康先進都市」

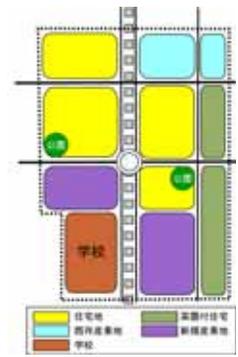
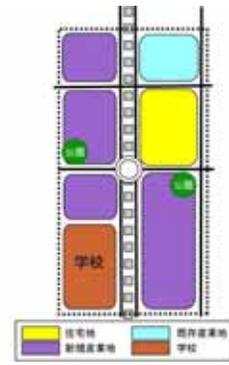
統合案 (エコ・健康・自然の3つのコンセプトを統合)
「健康と自然を育む木洩れ日の街」

交流人口創出型

産業系を中心とした
まちづくり

定着・交流バランス型

住宅系と産業系を合わ
せた複合型のまちづくり



< 課題 > 人口減少局面を迎える中での新しいまちづくりのリスク
浦和美園で計画人口約3万人規模の開発推進中(美園以北での新規定住の可能性)など

2. 延伸線沿線地域の将来像と課題

岩槻駅周辺のまちづくり

自然と歴史・文化を楽しむまち

(都市計画マスタープラン「区の将来像」)

<まちづくりの基本的な考え方>

歴史・文化を生かした、にぎわいと魅力ある拠点づくり
交通基盤が充実し、交流や連携を育むまちづくり
生活基盤が整った安全で暮らしやすいまちづくり
身近な自然と共生するまちづくり

<主な課題>

観光客は年間125万人前後で推移
人形製造業の従事者、事業所数が減少傾向

<課題解決に向けて>

(仮称)岩槻まちづくりマスタープラン策定 検討中

- ・現在、区民検討委員会を設置して 岩槻駅周辺の今後のあり方を検討中
H23年度中プラン素案作成予定
- ・まちづくりのコンセプトを「歴史・文化」として検討している。

3. 新たなまちづくり計画

「さいたま市都市計画マスタープラン」の改定 作業中 (H23～25予定)

持続可能なまちづくりに向けた今後のさいたま市の都市計画のあり方について

都市づくりの方向性

コンパクトなまちづくり政策を基調とした「持続可能なまちづくり」

持続可能なまちづくりの方向性

- * 超高齢社会においても、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり
- * 多様な住宅・住環境の選択肢を提供できるまちづくり
- * 都市の活力向上となる産業の活性化と人口減少時代における健全な財政の維持

都市づくりの基本方針案より

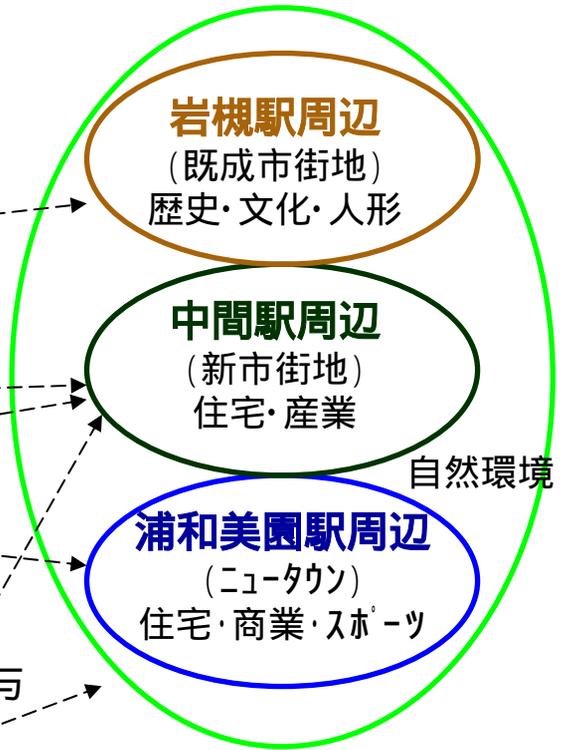
- * 都市的土地利用への転換・・・都市づくりの位置づけの明確、必要最小限の規模の検討
- * 都市施設の整備方針・・・駅中心の歩いて暮らせるまちづくり実現のため、医療・福祉施設など公共公益施設の立地誘導

4. まちづくりに関する延伸線整備の意義・必要性

延伸線沿線の現状・課題・将来像等を踏まえ、まちづくりに関する意義・必要性が整理できるか？

・鉄道延伸の導入効果を生かし、沿線3地区（浦和美園駅・中間駅・岩槻駅周辺）は、各々のコンセプトのもと、それぞれが有する特性・資源を活かして役割分担し、個性的な地域づくりを進めることで、相互の機能連携により延伸線沿線全体の発展を担い、都心との一層の交流創出を図り、魅力あるまちづくりを進めることが考えられる。

< 延伸線沿線3地区 概念図 >



< 意義・必要性(案) >

市街地の発展・再生など

・地域資源を活かした観光など都心との交流・賑わいの創出

首都圏の新たな住宅需要への対応

・ライフスタイルの多様化に対応

産業集積拠点としての必要性

・企業・大学等の立地ニーズを有する

鉄道空白地帯の交通利便性・生活利便性向上

・中間駅設置により新駅の駅勢圏を含め生活利便性向上に寄与

高齢社会における公共交通の必要性

・高齢者等の交通利便性の確保

延伸線地域の持続可能なまちづくりへの寄与

議事3：まちづくりに関する延伸線整備の意義・必要性

経緯・論点

- 国際アメニティタウン構想
- 調査対象エリア
3,350ha
- 希少な大規模住宅用地を活かした住宅供給(答申当時の埼玉県将来人口推計 790万人(H27))

- 人口減少局面等によって開発需要は低下(大規模住宅供給の必要性に疑問)
- 国際アメニティタウン構想は事実上消滅? 浦和美園320haのみ?

まちづくりの視点で、延伸線を整備する新たな意義・必要性を再構築する必要

これまでの検討委員会での議論から、
・地域の将来像の重要性、まちづくりとセットでの議論が必要等の指摘あり
・ネットワーク構築、混雑緩和等鉄道に関する意義・必要性も低下している懸念

Q:まちづくりに関する延伸線整備の意義・必要性は?(資料2の2.参照)

Q:延伸線は沿線各地域の課題の解決、将来像の実現に寄与できるか?

浦和美園

- みそのウイングシティ(開発中)
= 目指すまちづくりの実現
- 埼玉スタジアム2002
- 今後の商業施設等立地不安

中間部

- 延伸線と連動させる新しいまちづくり
- 鉄道空白地帯の解消

岩槻

- 「自然と歴史・文化を楽しむまち」= にぎわいと魅力ある拠点づくり、交流や連携を育むまちづくり等
- 高齡化、地域経済の落ち込みなど = 地域の再生

さいたま市全体の都市将来像: 持続可能なまちづくり Q:延伸線はさいたま市の持続可能なまちづくりの実現に寄与できるか?

その他の可能性: 防災・減災のまちづくり?、
エコ・エネルギー?、首都圏全体への貢献?

持続可能なまちづくりの方向性
超高齡社会においても誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり、多様な住宅・住環境の選択肢を提供できるまちづくり、都市の活力向上となる産業の活性化と人口減少時代における健全な財政の維持